| | |
|---|---|
| |  |
| 価格 | 無償<br>テキスト代及び職業訓練生総合保険料として約 5,200 円 |
| 備考 | https://skillup.yamagatanoukai.jp/skillup/ |



介護職員初任者研修課程テキスト　ふりがな付　全３巻セット

| | |
|---|---|
| 名称 | 介護職員初任者研修課程テキスト　ふりがな付　全３巻セット |
| 作成者・提供者 | 株式会社日本医療企画<br>【監修】小池将文（川崎医療短期大学学長）・内田富美江（元・川崎医療短期大学医療介護福祉科教授）・森繁樹（社会福祉法人みその　みその台ケアセンター所長） |
| 対象者 | 外国人・知的障害者 |
| 前提知識 | 特になし |
| 学習目標 | **実践的な理解:**<br>・「自立に向けた介護」を基本とし、利用者の１日の生活の流れに沿って介護技術を学ぶ。<br>・多数の「介護事例」を通して、現場をリアルに想定しながら実践力を養う。<br>**分かりやすさと効率:**<br>・難しい内容を簡潔な文章や豊富な図版（イラスト・写真）で視覚的に理解する。<br>・単元ごとの「学習の要点」「キーワード」でポイントを素早くつかむ |
| 学習内容<br>（構成・目次・概要） | 介護の職務と関連する諸制度の基礎的な知識を事例なども用いてわかりやすく解説<br>**第１巻：介護・福祉サービスの理解**<br>介護保険制度や障害者総合支援法などの制度、職務の理解<br>**第２巻：コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解**<br>利用者とのコミュニケーション、認知症や障害の医学的・心理的特徴<br>**第３巻：こころとからだのしくみと生活支援技術**<br>人体の構造（ボディメカニクス）や、食事・入浴・排泄・移動などの具体的な介助方法<br>目次<br>メインテキスト１　介護・福祉サービスの理解<br>序 章 介護の職務の理解<br>第１章 介護における尊厳の保持・自立支援<br>第２章 介護の基本<br>第３章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>メインテキスト２コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解<br>第１章 介護におけるコミュニケーション技術<br>第２章 老化の理解<br>第３章 認知症の理解 |

| | |
|---|---|
| | 第４章 障害の理解<br>メインテキスト３こころとからだのしくみと生活支援技術<br>第１章 こころとからだの基礎的理解<br>第２章 生活支援と住環境整備<br>第３章 こころとからだのしくみと自立に向けた介護<br>第４章 ターミナルケア<br>第５章 生活支援技術演習<br>振り返り<br>巻末資料<br>介護技術チェックシート |
| 学習形態<br>（ページイメージ） | **【特徴的な教材】**<br>**ふりがな付きテキスト:**<br>漢字にふりがなが振られたバージョンがあり、読みやすさ配慮<br>**スキルアップテキスト:**<br>「マンガでわかるトラブル解決事例集」や「クイックレシピ集」など、現場で役立つ副読本も用意されている<br>**DVD 教材:** ※巻末付録<br>「自立に向けた介護技術の基本」として、映像で技術を学べる<br> |



| | |
|---|---|
| | <br> |
| 価格 | 6,600 円（税込） |
| 備考 | https://www.jmp.co.jp/hp/shoninsha/shoninsha.html |

## パソコン活用に関連する教材事例

### 知的障害特別支援学校の ICT を活用した授業づくり

| | |
|---|---|
| 名称 | 知的障害特別支援学校の ICT を活用した授業づくり |
| 作成者・提供者 | 監修　金森　克浩（国立特別支援教育総合研究所情報・支援部総括研究員）<br>編著　全国特別支援学校知的障害教育校長会<br>株式会社ジアース教育新社 |
| 対象者 | 知的障害特別支援学校の教員 |
| 前提知識 | 特になし |
| 学習目標 | 教員が以下の視点を持って授業づくりができるようになることを目指としている<br>**理論の理解:** 知的障害教育における ICT 活用の意義、情報モラル指導、導入時の留意点を理解する。<br>**実践への応用:** 全国の実践事例（39 事例）を参考に、自分の学校や目の前の子どもの実態に合わせて、具体的な ICT 活用（アプリや機器の選定など）を工夫・実践できるようになる |
| 学習内容<br>（構成・目次・概要） | **第 1 部 理論編：** 知的障害特別支援学校における ICT の活用についての考え方や、活用方法、ICT を活用した教育を導入する際の留意点や情報モラルの指導について解説。<br>**第 2 部 実践編：** 全国の知的障害特別支援学校の各教科、領域・教科を合わせた指導、コミュニケーション支援などで ICT 機器等を活用した 39 事例を掲載。実際にどのような機器・アプリ等を使用し、それらをどう工夫して指導に役立て、その結果児童生徒にどのような効果があらわれたかについて、使用機器・アプリ等の写真を多用しながら、簡潔にまとめている。ICT を活用した授業づくりのためのヒントとする<br><br>国語<br>1. 動詞を表す言葉の習得 ～電子黒板を使って～　和歌山県立たちばな支援学校<br>2. タブレット端末を使用したドリル学習「ものの名前」　愛知県立みあい特別支援学校<br>3. 「メールを送ろう」～意思伝達装置のスイッチ操作でメールをする～　群馬県立高崎特別支援学校<br>4. 書字能力向上を目指した取り組み ～名前を自筆するために～ |



| | |
|---|---|
| | 青森県立森田養護学校<br>5. 「ロイロノート」を活用した、話す聞く力の向上に向けた取り組み滋賀大学教育学部附属特別支援学校<br>数学<br>6. タブレット端末を活用した加法の学習　～「Keynote」で作成したフラッシュ型教材を活用して～　秋田県立支援学校天王みどり学園<br>7.「お金の学習」アプリを用いた数学の授業　東京都立葛飾特別支援学校<br>美術<br>8.「ライトドローイング 光で描こう」～映像メディア表現～　東京都立石神井特別支援学校<br>9. ふしぎな写真をとろう！ ～ちょっと不思議で楽しめる『体験型アート』写真づくり～　熊本県立荒尾支援学校<br>10.「アニメーションを作ろう」　東京都立石神井特別支援学校<br>11. コマ撮りアニメーション制作　愛知県立みあい特別支援学校<br>保健体育<br>12. タップでカウント！ 意欲を高めたランニング　東京都立調布特別支援学校<br>職業<br>13. タブレット端末を活用した調べ学習の発表　秋田県立支援学校天王みどり学園<br>14. 個別モニタを活用した情報モラルの学習　横浜市立日野中央高等特別支援学校<br>家庭<br>15. 食べることは生きること！　静岡県立清水特別支援学校<br>流通・サービス<br>16. 作業精度を向上させるタブレット端末の活用　石川県立明和特別支援学校<br>総合的な学習の時間<br>17. わたしたちの住む街、東京を探検しよう！　～「選ぶ」「調べる」「まとめる」「発表する」活動を拡げる ICT の利用～　東京学芸大学附属特別支援学校<br>18. 音の「なんでだろう」を解決しよう！ ～身近にある音を見つけよう～　茨城大学教育学部附属特別支援学校<br>19. 人とかかわる“媒介”としての iPad 活用　長野県上田養護学校<br>特別活動 |

| | |
|---|---|
| | 20. 子供間の距離を縮める ICT の力　東京都杉並区立済美養護学校<br>21.「地震、津波から自分の身を守ろう！安全に避難しよう！」　宮崎県立延岡しろやま支援学校<br>自立活動<br>22. タブレット端末を使用した SST「気持ちの考え方」　愛知県立みあい特別支援学校<br>23. 重度重複障害児への ICT を活用したコミュニケーション指導　鹿児島県立桜丘養護学校<br>24. 携帯情報端末を使用した　自立活動「4 色ブロック」の実践　愛知県立みあい特別支援学校<br>25. VOCA アプリを用いたコミュニケーション指導　東京都立葛飾特別支援学校<br>日常生活の指導<br>26. 朝の会～「デジタル連絡帳」アプリを使って、繋がろう！語たろう！認め合おう！～　京都教育大学附属特別支援学校<br>27. 主体的な行動を引き出すことを目指した実践　青森県立森田養護学校<br>28. お楽しみタイム「Wii で体を動かそう！」　愛知県立半田特別支援学校<br>29. タブレット端末を使用した活動の見通し支援　愛知県立三好特別支援学校<br>30. 発話が困難な生徒の VOCA による朝の会の進行　福井県立奥越特別支援学校<br>31.「歯をみがこう」～ICT を活用した個別・集団での歯みがき指導～　岐阜県立東濃特別支援学校<br>生活単元学習<br>32. タブレット端末を活用した野菜の観察記録　石川県立明和特別支援学校<br>33. 3D プリンタで作成したオリジナルの型を使ってクッキー作り　東京都立石神井特別支援学校<br>34.　ICT を使用した校外学習事前指導「セントレアへ行こう！」　愛知県立半田特別支援学校<br>35. 思いを伝えよう ～交流学習及び共同学習における ICT の有効活用～　福島県立相馬養護学校<br>36. 移動教室に行こう！「プラネタリウムの事前学習」　東京都杉並区立済美養護学校<br>37. 修学旅行へ行こう！ ～ICT を活用した事前学習～　岐阜県立東濃特別支援学校<br>38. IC カードを使ってバスで出かけよう　～NFC（近距離無線通信技術）を用いたシミュレーションアプリ～　熊本大学教育学部附属特別支援学校<br>作業学習<br>39.タブレット端末を活用した振り返り活動の充実　北海道釧路鶴野支援学校 |
| 学習形態（ページイメージ） |  |
| 価格 | 1,980 円（税込） |
| 備考 | https://www.kyoikushinsha.co.jp/book/0387/index.html |

発達障害のある子供たちのための ICT 活用ハンドブック

| | |
|---|---|
| 名称 | 発達障害のある子供たちのための ICT 活用ハンドブック |
| 作成者・提供者 | 文部科学省<br>委託先　特別支援学級編：兵庫教育大学<br>通級指導教室編：宮城教育大学<br>通常の学級編　：筑波大学 |
| 対象者 | 教員 |
| 前提知識 | 特になし |
| 学習目標 | **支援技術の習得:**<br>タブレット端末などの ICT 機器を使い、読み書きやコミュニケーションに困難がある子供たちをどうサポートするか、具体的な操作や活用法を学ぶ。<br>**場面に応じた指導:**<br>「通常の学級」「通級指導教室」「特別支援学級」それぞれの場での効果的な活用事例を知り、実践できるようになる。<br>**合理的配慮の理解:**<br>ICT 活用が「単なる便利グッズ」ではなく、障害のある子供にとって必要な「合理的配慮」であることを理解する。 |
| 学習内容<br>（構成・目次・概要） | 発達障害などにより学習に困難を抱える子供たちに対し、ICT（タブレットや PC など）をどのように活用すれば効果的かを、以下の 3 つの指導場面別に学ぶ。<br>**(1) 特別支援学級編**<br>・個別の課題に応じたアプリや機器の活用法。<br>・視覚的な支援（スケジュール管理、手順書）や、コミュニケーション支援（VOCA アプリなど）の具体例。<br>**(2) 通級指導教室編**<br>・通常の学級に在籍しながら、一部の時間だけ特別な指導を受ける子供たちへの ICT 活用。<br>・ソーシャルスキルトレーニング（SST）や、感情のコントロール、学習の遅れを取り戻すための個別指導での活用法。<br>**(3) 通常の学級編**<br>・一斉授業の中で、発達障害のある子も含めた全員に分かりやすい授業をするための工夫（ユニバーサルデザインの視点）。<br>・書くことが苦手な子へのタブレット入力の許可や、板書の写真撮影などの合理的配慮の事例。 |



目次

特別支援学級編
このハンドブックについて
本書の見方
ICT 活用ハンドブック～特別支援学級編～のコンセプト
第 1 章：はじめに　～発達障害と ICT について～
1.1　発達障害とは
1.2　発達障害と ICT 活用
1.3　特別支援学級と ICT 活用
第 2 章:教員が抱える悩みを解決しよう　～特別支援学級における ICT 活用事例～
2.1　ICT って、何か難しそうなイメージがあるのですが…
2.2　子供が困っていることって、本当に ICT で解決できるのですか…？
2.3　特別支援学級で使える学習用のソフトをうまく見つけられないのですが…
2.4　学級で ICT 機器を使用すると、子供同士で取り合いになるのでは…
2.5　ICT 機器を小集団で使うイメージが湧いてきません…
2.6　小集団で ICT を活用する方法がプレゼンテーションしか思いつきません…
2.7　特別支援学級での ICT 活用に関する事例がなかなか見つかりません…
第 3 章：教員が ICT を効率的に学ぶために　～ICT の効率的な研修方法について～
3.1　ICT が学校にやってきた！
3.2　まずは、一人で使ってみよう
3.3　初心者同士で知識を共有しよう！
3.4　困ったときに、相談する相手を見つけよう
あとがき

通級指導教室編
このハンドブックについて
Ⅰ　考え方
発達障害とは
発達障害と ICT 活用
指導場面の違いによる指導の留意点

| | |
|---|---|
| | Ⅱ　実践事例<br>　① 教科学習面での活用例<br>　② 学校生活面での活用例<br>　③ 情報共有面での活用例<br>Ⅲ　導入にあたって<br>　◎導入に当たっての課題や留意点<br>　◎子供との約束ごと（使い方のルール）<br>　◎教員研修の進め方<br>Ⅳ　データ・資料<br>あとがき<br><br>通常の学級編<br>第 1 章　考え方<br>　1.1　発達障害とは<br>　1.2　発達障害と ICT 活用<br>　1.3　通常の学級で発達障害のある子供に ICT を用いた指導<br>　1.4　集団と個への配慮、学級経営上の留意点考え方<br>第 2 章　事例<br>　2.1　読むことが難しい子供に対して<br>　2.2　見ることが難しい子供に対して<br>　2.3　ノートをとることが難しい子供に対して<br>　2.4　計算することが難しい子供に対して<br>　2.5　調べることが難しい子供に対して<br>　2.6　集中することが難しい子供に対して<br>　2.7　細かな作業や操作が難しい子供に対して<br>　2.8　聞くことが難しい子供に対して<br>第 3 章　導入に当たって<br>　3.1　通常の学級への ICT 機器の導入<br>　3.2　タブレット PC をはじめて導入した小学校での取り組み例<br>第 4 章　参考資料<br>アンケート調査の結果<br>あとがき |
| 学習形態<br>（ページイメージ） | **個別学習:**<br>子供一人ひとりの特性（読み書きの困難、注意の散漫さなど）に合わせたアプリやソフトを使い、自分のペースで学ぶ形<br>**一斉指導の中での個別支援:**<br>クラス全員がタブレットを使う中で、特定の支援が必要な子には文字 |



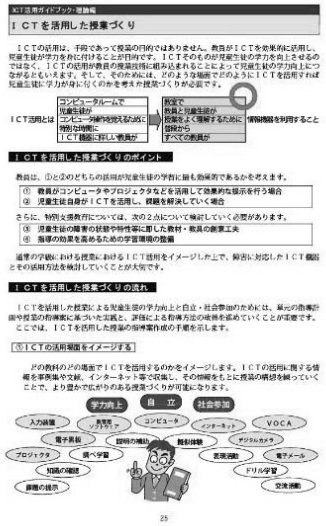
| | |
|---|---|
| | を大きくしたり、読み上げ機能を使ったりして参加しやすくする形<br>**協働学習:**<br>グループ活動で、自分の考えを ICT 機器を使って発表したり、友だちと画面を共有して話し合ったりする形<br><br><br>1.1　発達障害とは |
| 価格 | 無償（備考欄 URL から pdf ダウンロード） |
| 備考 | https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1408030.htm |

研修情報・ICT ガイドブック

| | |
|---|---|
| 名称 | 研修情報・ICT ガイドブック |
| 作成者・提供者 | 山口県教育委員会 |
| 対象者 | 特別支援学校 |
| 前提知識 | 特になし |
| 学習目標 | **情報活用能力の育成:**<br>児童生徒が情報社会に対応できる力を身につけること<br>**困難の改善・克服:**<br>障害による学習上・生活上の困難（見えにくい、聞こえにくい、話しにくいなど）を ICT 機器で補うこと<br>**コミュニケーションの拡大:**<br>社会とのつながりやコミュニケーションを広げ、自立と社会参加を実現すること<br>**学習意欲の喚起:**<br>わかりやすい授業を通じて、子どもたちの「学びたい」という意欲を引き出すこと |
| 学習内容（構成・目次・概要） | ガイドブックは「理論編」と「事例編」に分かれており、以下の知識と技術を学ぶ<br>**理論と基礎知識:**<br>・学習指導要領における情報教育の位置づけ。<br>・情報モラル教育（インターネットや携帯電話の正しい使い方）の指導法。<br>・障害種別（視覚障害、聴覚障害、発達障害など）に応じた ICT 機器の選び方や活用法（AAC 手段の選択など）。<br>**具体的な授業づくり（事例）:**<br>**国語:** プレゼンソフトを使った「読み」の指導、VOCA（音声出力装置）を使った「話す」ことの支援。<br>**算数:** 電子黒板を使って視覚的に分かりやすく数を教える方法。<br>**自立活動:** スイッチ教材を使った意思伝達、視覚障害者用ソフトによる入力支援。<br>**生活・特別活動:** デジタルカメラを使って「履物をそろえる」などの生活習慣を視覚的に教える方法。<br>**遠隔授業:** ビデオ会議システムを使った病弱教育（ベッドサイド学習）の事例。<br><br>－理論編－ |



| | |
|---|---|
| | 教育の情報化と情報教育<br>学習指導要領を踏まえた情報教育とＩＣＴ活用の推進<br>学校における情報モラル教育<br>特別支援教育における教育の情報化<br>特別支援学校における情報教育とＩＣＴ活用<br>小・中・高等学校等における特別支援教育での情報教育とＩＣＴ活用<br>授業におけるＩＣＴの活用ＩＣＴを活用した授業づくり<br>◆ＩＣＴ活用のための参考資料<br>①ＡＡＣ手段の選択<br>②障害種別のＩＣＴ機器の活用例<br>③発達障害の児童生徒のための支援技術と活用例<br>④ＩＣＦの視点からみたＩＣＴ活用<br>－事例編－<br>＜総合支援学校＞<br>事例１（小学部・国語）「いろいろなふね」<br>事例２（小学部・国語）「文を作ろう」<br>事例３（小学部・国語）「コンピュータ絵本を読もう」<br>事例４（中学部・国語）「動く絵本をつくろう」<br>事例５（中学部・国語）「どの写真かな？」<br>事例６（高等部・国語）「文を考えて、発表しよう」<br>事例７（小学部・算数）「１０より大きなかず」<br>事例８（高等部・世界史）「ヨーロッパの拡大と大西洋世界」<br>事例９（高等部・保健体育）「『出会い系サイト』の怖さを知ろう」<br>事例１０（高等部・工業）「携帯電話と情報モラル」<br>事例１１（高等部・情報）「携帯電話やインターネットの使い方を学ぼう」<br>事例１２（小学部・自立活動）「スイッチで遊ぼう」<br>事例１３（高等部・自立活動）「ホームページを読もう」<br>事例１４（高等部・自立活動）「ワープロ文書を作成しよう」<br>事例１５（小学部・特別活動）「パソコンクラブ」<br>事例１６（全学部・特別活動）「見通しのもてる集会活動」<br>事例１７（全学部・特別活動）「携帯ゲームを使った視覚的な支援」<br>事例１８（中学部・特別活動）「仲良くなろう」<br>＜小学校＞<br>事例１９（特別支援学級・音楽）「みんなで合奏しよう」<br>事例２０（３年・算数）「一万をこえる数」<br>事例２１（３年・総合的な学習の時間)「メディアとうまくつきあおう」 |

| | |
|---|---|
| | 事例２２（５年・特別活動）「はきものをそろえよう」<br>－資料編－<br>特別支援学校学習指導要領（小・中学部）における教育の情報化に関する主な記述<br>用語解説・使用ソフトウェア一覧<br>教育情報サイト |
| 学習形態<br>（ページイメージ） |  |
| 価格 | 無償（備考欄 URL から pdf ダウンロード） |
| 備考 | https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/181/26573.html |



## 知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践

| | |
|---|---|
| 名称 | 新時代を生きる力を育む　知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践<br>新時代を生きる力を育む　知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践２ |
| 作成者・提供者 | 「知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践」<br>監修　金森 克浩<br>編著　水内 豊和<br>著　　海老沢 穣／齋藤 大地／山崎 智仁<br>「知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践２」<br>監修：金森克浩<br>編著：水内豊和・齋藤大地<br>株式会社ジアース教育新社 |
| 対象者 | 知的障害特別支援学校 |
| 前提知識 | 特になし |
| 学習目標 | 知的障害や発達障害のある児童生徒に対して、プログラミング教育を通じて以下の力を育むことを目標とする<br>**プログラミング的思考の育成:**<br>順序立てて物事を考える力や、試行錯誤しながら問題を解決する力を養う。<br>**教科等の指導効果の向上:**<br>国語や算数などの既存教科の学習内容を、プログラミングを活用してより深く、楽しく学ぶ。<br>**自立活動の充実:**<br>コミュニケーション能力の向上や、手指の操作性向上、因果関係の理解（自分が操作したことで物が動く）を促す。<br>**情報活用能力の育成:**<br>コンピュータやタブレット等の ICT 機器に慣れ親しみ、将来の就労や生活に役立つスキルを身につける。 |
| 学習内容<br>（構成・目次・概要） | 「知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践」<br>はじめに<br>第１章　プログラミング教育の現在<br>　第１節　知的障害特別支援学校とプログラミング教育<br>　第２節　プログラミング教育と教育課程の位置付け<br>　第３節　授業づくりのコツ<br>　第４節　使える！　プログラミングツール解説 |

第２章　プログラミング教育実践事例
■小学部
【アンプラグド】
［自立活動］ダンスをプログラミングしよう
［国語］オリジナルの『ルビィのぼうけん』の絵本を作ろう
【タンジブル】
［自立活動］「GLICODE」でプログラミングをしよう
［自立活動］ピラーちゃんにごはんをあげよう
［課題学習］ロボット博士になろう！
【ビジュアル】
［算数］新しい計算を考えよう
［生活単元学習］お絵かきすいぞくかん
［生活単元学習］迷路を正しく進んでパズルをクリアしよう！
［生活単元学習］「Scratch Jr」を使って、プログラミングを体験しよう
【フィジカル】
［国語・算数］ロボットバスを走らせよう！
［生活単元学習］タブレットでプログラミングをして段ボールロボットを動かそう！
■中学部
【タンジブル】
［総合的な学習の時間］プログラミングカーで遊ぼう
【ビジュアル】
［職業・家庭（情報）］「Viscuit」でプログラミングをしよう
［美術］アニメーションを作ろう！
［美術］さわると絵が増える！
［総合的な学習の時間］自分だけのデジタル水族館を作ろう～「Scratch」を使ってプログラミング～
【フィジカル】
［情報］ボイ捨てゼロ大作戦
■高等部
【アンプラグド】【その他】
［生活単元学習］伝えよう！ 松江養護学校の伝統
［国語］学校祭の作文を書こう
［体育］創作ダンス
【ビジュアル】
［情報］プログラミングで迷路をクリアしよう
［数学］自分だけのショートストーリーやゲームを作ろう



［情報］「Scratch」で計算ゲームを作ろう
［数学］プログラムで正方形を描いてみよう
［数学］多角形の外角の和
［情報］「Scratch Jr」によるプログラミング学習
【フィジカル】
［美術］遊びのデザイン
［特別活動］「micro:bit」で「きらきらイルミネーション」をつくろう！
おわりに
監修・編著者・著者一覧
「知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践２」
はじめに
第１章　プログラミング教育を知ろう！考えてみよう！
　第１節　知的障害のある子どもにとってのプログラミング教育の意義
　第２節　認知心理学からみたプログラミング
　第３節　情報活用能力を高める授業デザイン
　第４節　知的障害教育でプログラミング教育をはじめるには
　第５節　特別支援教育におけるプログラミング的思考
　第６節　アンプラグド・プログラミングからはじめよう
　　～プログラミング的思考の視点を用いた生活や学習に根ざしたわかる授業づくり～
　第７節　卒業後を見通したプログラミング教育
　第８節　プログラミング教育を通した学習活動の展開
　第９節　知的障害特別支援教育におけるプログラミング教育の課題
　コラム　幼児期の発達とプログラミング教育
第２章　プログラミング教育をやってみよう！
［国語］【小/ビジュアル】
　読み取ったこと、感じたことを Scratch で表現してみよう！
［国語］【小/ビジュアル】
　海のようすやスイミーの気もちがつたわるようにはっぴょうしよう
［算数］【小/アンプラグド・タンジブル・ビジュアル】
　何マスでツルツルくんをゴールに連れて行けるかな？
［算数］【小/アンプラグド】
　計算の仕方を考えよう
［算数］【小/ビジュアル】
　正多角形の特徴を調べよう！
［数学］【中/フィジカル】

| | |
|---|---|
| | スフィロボルトで図形を描こう ～今まで学んだことをより確かなものに～<br>［図工・音楽］【小/ビジュアル・フィジカル】<br>KeyTouch × Scratch でおもしろい楽器をつくろう！<br>［美術］【中/ビジュアル】<br>リアルな生活とつながるプログラミング教育の実践<br>～Viscuit で FTK 水族館を作る～<br>［美術］【中/ビジュアル】<br>アナログとデジタルをつなぐアート表現「自分だけの模様を描こう」<br>～Zoom とロイロノート・スクールでつなぐ Viscuit アート～<br>［職業・家庭（情報）］【中/ビジュアル・フィジカル】<br>「車いす衝突防止機能」～プログラミングで身の回りの問題を解決しよう～<br>［家庭］【高/ビジュアル・フィジカル】<br>快適な生活空間を考えよう<br>［職業］【高/テキスト】<br>マインクラフトをプログラミングして昔話アニメ動画を作って世界に発信しよう！<br>［外国語］【小/タンジブル】<br>道案内をしよう！<br>［総合的な学習の時間（パソコンクラブ）］【高/フィジカル】<br>プログラミングでサッカーをしよう！<br>［総合的な探求の時間］【高/フィジカル】<br>自動車型プログラミングロボットで対戦しよう！<br>［情報］【中/フィジカル】<br>卒業に向けてメッセージボードを作ろう　～「micro:bit」で気持ちを伝えよう～<br>［生活単元学習］【小/ビジュアル】<br>Minecraft で街作りをしよう！<br>［生活単元学習］【小・中/ビジュアル】<br>クリスマス会をしよう！<br>［生活単元学習］【小/フィジカル】<br>micro:bit で学ぶ環境問題<br>［生活単元学習］【中/フィジカル】<br>いろいろな余暇に挑戦しよう　～ラジコンカーで GO！～<br>［日常生活（昼休み）］【中/タンジブル】<br>ゴールを目指して組み立てよう！ |



| | |
|---|---|
| | ～生活上の問題解決につなげるプログラミング学習～<br>［日常生活の指導］【小/タンジブル】<br>動物園へ行こう！<br>［作業学習］【中/アンプラグド】<br>作業学習におけるロボットアームの活用に関する実践<br>［自立活動］【小/アンプラグド】<br>アンプラグドでダンス・ダンス・ダンス<br>～プログラミング教育…はじめの一歩としての取り組みの一例～<br>［自立活動］【小/タンジブル】<br>ピラーちゃんにごちそうをあげよう<br>［自立活動］【小/タンジブル】<br>キュベットくんをあんないしよう<br>［自立活動］【中/アンプラグド】<br>ブロックをはめて動かそう<br>［自立活動］【中/タンジブル】<br>コード・A・ピラー、コード・A・ピラー・ツイストを目的地まで歩かせよう<br>［自立活動］【中/ビジュアル】<br>Keynote で西浦フェスティバルの劇の動く背景を作ろう<br>［部活動（写真部）］【高/テキスト】<br>Sphero SPRK＋プログラミングで不思議な写真や映像効果を撮影しよう！<br>おわりに |
| 学習形態<br>（ページイメージ） | 児童生徒の実態に合わせて以下の 4 つの形態（分類）<br>**アンプラグド（Unplugged）:**<br>コンピュータを使わずに、カードや体を使ってプログラミング的思考を学ぶ活動（例：ダンスの振り付けをカードで指示する）。<br>**タンジブル（Tangible）:**<br>具体物（ロボットやブロックなど）を直接触って操作し、プログラムする活動（例：プログラミングカー、ロボット「ピラーちゃん」）。<br>**ビジュアル（Visual）:**<br>タブレットや PC の画面上で、ブロックを組み合わせて視覚的にプログラムする活動（例：Viscuit、Scratch Jr、Scratch、GLICODE）。<br>**フィジカル（Physical）:**<br>プログラムを作成して、現実世界の物を動かしたり光らせたりする活動（例：micro:bit を使ったイルミネーション、段ボールロボット）。 |

| | |
|---|---|
| | <br> |
| 価格 | 知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践　2,420 円(税込)<br>知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践２　2,860 円(税込) |
| 備考 | 知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践<br>https://www.kyoikushinsha.co.jp/book/0534/index.html<br>知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践２<br>https://www.kyoikushinsha.co.jp/book/0597/index.html |



## 在宅型パソコン訓練

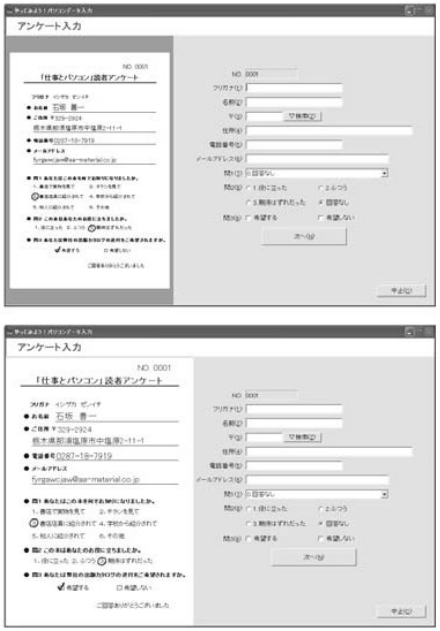
| | |
|---|---|
| 名称 | 在宅型パソコン訓練（ホームページ作成・就職支援）<br>実践能力習得訓練コース |
| 作成者・提供者 | 株式会社沖ワークウェル |
| 対象者 | ①　・身体障害があり、身体障害者手帳をお持ちの方<br>・知的障害、精神障害、発達障害、その他（高次脳機能障害、難病等）の障害があり、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳、公的な判定書（意見書、診断書）、難病指定の医療受給者証等をお持ちの方<br>② 居住地管轄のハローワークに求職登録を行い、訓練受講の推薦を受けた方<br>③ 職業訓練を通じて就職しようとする意思のある方<br>④ 都内在住で訓練施設への通所が困難な障害者の方 |
| 前提知識 | （ホームページ制作の知識） |
| 学習目標 | 外出が困難な障がいのある方を対象とした完全在宅型の職業訓練で、在宅での就労（テレワーク）に必要な実践的なスキルとマインドセットを習得する。<br>**在宅ワークの実践力向上:**<br>自宅にいながら企業（沖ワークウェル）のバーチャルオフィスに接続し、実際の業務に近い環境で作業することで、テレワークでの働き方を身につける。<br>**Web 制作スキルの習得:**<br>ホームページ作成（HTML/CSS）の基礎から修正・更新業務までの実務スキルを習得する。<br>**業務遂行能力（QCD）の理解:**<br>仕事をする上で重要な「品質（Quality）」「コスト（Cost）」「納期（Delivery）」の意識や、業務手順、報告・連絡・相談（ホウレンソウ）などのビジネススキルを養う。<br>**アクセシビリティの理解:**<br>障がい者や高齢者など誰もが使いやすい「アクセシビリティ」を考慮したホームページ作成の視点を学ぶ。 |
| 学習内容<br>（構成・目次・概要） | 訓練カリキュラム<br>●学科<br>オリエンテーション（1 時間）<br>自己紹介、訓練日程説明、必要書類の説明<br>業務説明（1 時間） |

| | |
|---|---|
| | ホームページ作成ワークフロー説明<br>就職支援（5 時間）<br>在宅勤務におけるコミュニケーションのポイント、<br>仕事に対する姿勢、仕事の手順、QCD<br>振り返り（1 時間）<br>訓練のまとめ<br>●実技<br>ホームページの修正箇所調査（16 時間）<br>アクセシビリティを考慮したホームページにするために<br>何が必要か調査を行う<br>ホームページの修正内容検討（16 時間）<br>どのようにホームページを修正したら良いか検討し<br>修正案をまとめる<br>ホームページの修正（10 時間）<br>ホームページ制作の知識がない場合は、簡易的な方法で<br>ホームページを更新する<br>ホームページ修正箇所の試験（10 時間）<br>修正案の通りホームページを修正できたか検証する |
| 学習形態<br>（ページイメージ） | 完全在宅（テレワーク）スタイル<br>訓練時間総合計　60 時間<br>必要機材<br>・パソコン（Windows10 以上）メモリー：4GB 以上・ネットワーク環境・マウス・キーボード・マイク・スピーカー<br>必要なソフト<br>Word、Excel 等・セキュリティ対策ソフト・ブラウザー・メール |
| 価格 | 無償 |
| 備考 | https://www.okiworkwel.co.jp/lectures/pdf/hp_training_course.pdf |



## 『やってみよう！パソコンデータ入力』

| | |
|---|---|
| 名称 | 『やってみよう！パソコンデータ入力』 |
| 作成者・提供者 | 作成・発行: 独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター（NIVR）<br>執筆担当: 岡田 伸一（特別研究員） |
| 対象者 | 障がい者の能力開発に携わる施設の指導員、特別支援学校の教員、企業の担当者など |
| 前提知識 | パソコンの基本的な操作（キーボード入力、マウス操作）ができること。高度な知識は必要なし |
| 学習目標 | **実務スキルの習得:**<br>パソコンを使ったデータ入力実務に求められる「正確性」と「スピード」を習得する<br>**職業適性の判断:**<br>データ入力業務のエッセンスを体験し、適性を判断する材料とする |
| 学習内容<br>（構成・目次・概要） | ソフトのバージョンアップ内容の解説と、利用ガイドで構成<br>**【資料の目次構成】**<br>1. 研究の背景と目的: 開発の経緯とバージョンアップの狙い。<br>2. ソフトの概要: 基本仕様、機能、課題の種類。<br>3. バージョンアップの内容: ネットワーク対応、フォント変更、手書き課題の追加など。<br>4. Ver.3 クイックガイド: インストール方法、基本操作、結果確認の手順。<br>5. 利用のヒント: 他の施設での利用事例や指導のポイント。<br>**【ソフトで行う訓練内容（カリキュラム）】**<br>以下の 3 つの課題を通して訓練する<br>・アンケート入力: 顧客アンケート（氏名、住所、選択肢など）を画面に入力する。<br>・顧客伝票修正: 画面上のデータと伝票を見比べ、間違いを修正する。<br>・顧客伝票ミスチェック: 間違い箇所を指摘（ドラッグ）するだけの作業（入力が苦手な人向け）。<br>※それぞれの課題に対し、「基礎トレーニング」「レベルアップトレーニング」「実力テスト」の 3 つのモードがある。 |
| 学習形態 | **PC ソフトによる実習形式:** |

| | |
|---|---|
| （ページイメージ） | 画面に表示される（または印刷された）「アンケート用紙」や「伝票」を見ながら、パソコンに入力を行う<br>**即時フィードバック:**<br>入力後すぐに自動採点され、「ピンポン！」という正解音や「○×」表示が出ることで、ゲーム感覚で達成感を得ながら進める<br> |
| 価格 | 無償ダウンロード |
| 備考 | このソフト（のコアプログラム）は、全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の「パソコンデータ入力」種目の競技課題として活用されている。<br>https://www.nivr.jeed.go.jp/research/report/shiryou/p8ocur00000013lv-att/shiryou61.pdf |



生成 AI などの活用事例

「知的障害特別支援学校中学部における生成AIの理解と学びへの活用に関する教育実践」

| | |
|---|---|
| 名称 | 「知的障害特別支援学校中学部における生成 AI の理解と学びへの活用に関する教育実践」 |
| 出典・作者名 | 樋井一宏・山崎智仁（2024） |
| 対象者 | 知的障害特別支援学校 中学部生徒 |
| 学習目標 | **抽象概念の視覚的理解:**<br>自分の書いた文章を AI で画像化（視覚化）することで、言葉だけでは捉えにくい抽象的な概念の理解を深める。<br>**表現意欲の向上:** 自分の文章が絵として「形になる」体験を通じ、自己表現することへの意欲や関心を高める。 |
| 実施内容（構成・目次、概要） | 生徒が自分で書いた文章を生成 AI に入力 → AI が画像を生成 → 文章表現を視覚化して理解を深める<br>**文章の作成:**<br>生徒が自分で文章を書く。<br>**生成 AI への入力:**<br>その文章を生成 AI（画像生成 AI）に入力する。<br>**画像の生成・確認:**<br>AI が文章の内容に基づいた画像を生成する。<br>**理解の深化:**<br>生成された画像を見ることで、自分の書いた文章表現がどのように視覚化されるかを確認し、言葉の意味や表現の理解を深める。 |
| 成果・効果 | **抽象的な概念の理解が容易になる:**<br>文章表現を画像として視覚化することで、言葉だけでは捉えにくい抽象的な内容を理解しやすくなる。<br>**自己表現の意欲が向上:**<br>自分の書いた文章が絵として「形になる」という体験を通じて、表現することへの意欲が高まる。 |
| 課題 | プロンプト作成の難しさ（教師のサポートが必要）<br>生徒によって理解度の差が大きい |
| 備考 | https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjet/advpub/0/advpub_S48030/_pdf/-char/ja |

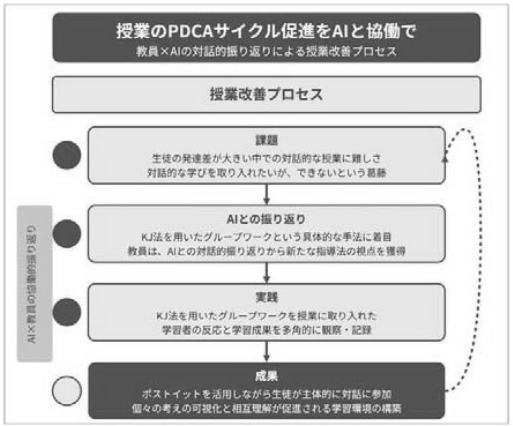
## 八王子市立上柚木中学校 特別支援教室

| | |
|---|---|
| 名称 | 八王子市立上柚木中学校 特別支援教室（発達障害・知的障害を含む生徒対象） |
| 出典・作者名 | ベネッセ「教育 DX ストーリー」 |
| 対象者 | 特別支援教室在籍の中学生 |
| 学習目標 | **言語化能力の育成:**<br>対話型 AI とのやり取りを通して、自分の感情や考えを言葉にして伝える力を養う。<br>**自己理解と自己肯定感の向上:**<br>AI からの客観的かつ受容的なフィードバックを得ることで、自分自身について深く知り、自己肯定感を高める。 |
| 実施内容（構成・目次、概要） | 生徒が対話型 AI に「主人公が成長する小説」の質問を入力 → 自分の考えを答える → AI が返答 → 自己理解を深める<br>最終的に「自分の取扱説明書」「座右の銘」を AI と一緒に作成<br><br>**AI への入力:**<br>生徒が対話型 AI に対し、「主人公が成長する小説」を作ってほしいと依頼し、そのための質問をしてほしいと入力する。<br>**対話の実践:**<br>AI から投げかけられる質問に対し、生徒が自分の考えや経験を答える。AI はその答えを受け止め、さらに返答する。<br>**成果物の作成:**<br>対話を通じて深まった自己理解をもとに、最終的に AI と一緒に「自分の取扱説明書」**や**「座右の銘」を作成する。 |
| 成果・効果 | **言語化する力:**<br>自分の気持ちや考えを言語化する力が育った。<br>**自己肯定感:**<br>自分の考えが否定されずに形になる体験を通じ、自己肯定感の高まりが見られた。 |
| 課題 | AI への入力をどう支援するか<br>支援機器や教師の声かけが必要 |
| 備考 | https://bso.benesse.ne.jp/miraiseed/fansite/manabi-dx-story/1188782_1509.html?utm_source=chatgpt.com |



## 兵庫県立氷上特別支援学校 事例

| | |
|---|---|
| 名称 | 兵庫県立氷上特別支援学校 事例<br>生徒の興味関心に基づいた AI 活用（数学授業） |
| 出典・作者名 | ベネッセ・PEF 公開事例 |
| 対象者 | 特別支援学校 中学部の生徒 |
| 学習目標 | 生徒自身の強い興味・関心（車など）に関連した生活課題（燃費や費用の計算）を扱うことで、数学的な知識・技能を実生活に応用する力と、主体的に学ぶ意欲を向上させる。<br><br>**主体的な学習姿勢の育成:**<br>生徒の「好きなもの（車）」を学習の入り口にすることで、教科（数学）への関心や取り組む意欲を高める。<br>**数学的スキルの実生活への活用:**<br>燃費や費用などの具体的な数値を通して、数学が実生活（カーライフなど）に役立つことを理解し、知識を活用する力を養う。 |
| 実施内容（構成・目次、概要） | 車に強い関心がある生徒 →AI に「燃費計算」「車検費用見積もり」「駐車場比較」などの情報を出してもらう → 数学的課題に応用<br><br>**AI による情報収集:**<br>車に強い関心がある生徒に対し、AI に「燃費計算」「車検費用の見積もり」「駐車場比較」などの具体的な情報を提示させる。<br>**数学的課題への応用:**<br>AI が出力した数値データ（ガソリン代や維持費など）を素材として、計算や比較などの数学的な課題に取り組む。<br>**教員のサポート:**<br>教員は「生徒の得意を生かす授業づくりアシスタント（GPTs）」などを活用し、AI の回答をたたき台にしつつ、ファクトチェックを行った上で生徒に提示する。<br><br>活用した AI（GPTs）<br>【生徒の得意を生かす授業づくりアシスタント】<br>https://chatgpt.com/g/g-67af2c6f10d0819195e5e7159945c76e-sheng-tu-node-yi-wosheng-kasushou-ye-tukuriasisutanto<br>※生成 AI の回答はたたき台として、目の前の生徒に合わせて、教員間のファクトチェックを大切にしながら活用していくように心掛けている。 |

| | |
|---|---|
| | <br>図 10 教員と振り返り AI との対話による授業改善 |
| 成果・効果 | **意欲と集中力の向上:**<br>自分の「好きなもの」が教材となっているため、高い集中力と意欲を持って学習に取り組むことができた。<br>**理解の深化:**<br>学習内容が自分の生活や興味に直結しているため、ただの計算ドリルではなく「意味のある活動」として捉えられ、深い理解につながった。 |
| 課題 | 出力の正確性を教師がチェックする必要がある |
| 備考 | https://www.pef.or.jp/db/pdf/2024/2024_81.pdf |



## 全国国立大附属特別支援学校調査報告

| | |
|---|---|
| 名称 | 全国国立大附属特別支援学校調査報告<br>生活スキル支援における AI 活用（研究途上） |
| 出典・作者名 | 山崎智仁ほか（2024） |
| 対象者 | 知的障害特別支援学校 高等部生徒 |
| 学習目標 | **国語科：**<br>自分の書いた文章を視覚化（イラスト化）することで、表現した内容のイメージを具体的に持ち、理解を深める。<br>**体育科：**<br>自分の動きを客観的に分析・可視化することで、正しい身体の動きや運動技能の理解を助ける。 |
| 実施内容（構成・目次、概要） | 教科指導の中で、AI の特性（生成・分析）を生かした支援が行われた。<br>**国語科：**<br>生徒が作成した文章を生成 AI に入力し、その内容をイラストとして「視覚化」させる。<br>**体育科：**<br>AI アプリを活用して生徒自身の動きを撮影・分析し、運動のフォームや動きのポイントを客観的に捉えさせる（運動理解の補助）。 |
| 成果・効果 | **意欲の向上：**<br>「好きなもの」や興味のある活動を入り口にすることで、生徒の集中力と学習意欲が向上した。<br>**理解の深化：**<br>学習内容が生活や自身の活動に直結しているため、深い理解につながった。 |
| 課題 | 教員の AI 知識不足<br>デバイス整備の遅れ |
| 備考 | https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjet/advpub/0/advpub_S48118/_pdf/-char/en |

## タッチパネルや視覚的タイマーで生活リズム支援

| | |
|---|---|
| 名称 | タッチパネルや視覚的タイマーで生活リズム支援 |
| 出典・作者名 | 滋賀大学教育学部附属特別支援学校の事例 |
| 対象者 | 知的障害のある高等部生徒 |
| 学習目標 | **時間の視覚的理解:**<br>時間の経過やスケジュールの見通しを「見える形」で理解できるようにする。<br>**行動の切り替えと自発性:**<br>次に何をすべきかを自分で判断し、着替えや作業の開始・終了などの行動の切り替えを、情緒を安定させて主体的に行えるようにする。 |
| 実施内容（構成・目次、概要） | ICT 機器を活用して、生活の流れや時間を視覚的に提示する支援が行われた。<br>**スケジュールの提示:**<br>タッチパネル操作やモニターなどを使い、着替えや作業の時間割をわかりやすく提示する。<br>**視覚的タイマーの活用:**<br>「あとどれくらいで終わるか」「いつ始まるか」という時間の経過を、量として直感的にわかるタイマー（タイムタイマー等）で表示し、時間を意識しやすくする。 |
| 成果・効果 | **見通しと安心感:**<br>活動の見通しが立つことで不安が減り、落ち着いて課題に取り組めるようになった。<br>**自発的な行動:**<br>教員に言われる前に、自分から時計やタイマーを見て次の行動に移れるようになる生徒が増えた。 |
| 課題 | 教員が提示を忘れると効果が減少<br>ICT 環境がない場面では活用困難 |
| 備考 | https://www.nise.go.jp/cms/resources/content/5215/seika4_3.pdf |



## 学習にモバイル機器を活用

| | |
|---|---|
| 名称 | 学習支援にモバイル機器を活用 |
| 出典・作者名 | 滋賀大学教育学部附属特別支援学校の事例 |
| 対象者 | 知的障害のある高等部生徒 |
| 学習目標 | **実用的な知識の習得:** 将来の自立や就労（運転免許取得）に直結する具体的な知識を習得する。<br>**学習習慣の定着:** モバイル機器（iPod touch）を活用することで、生徒が意欲的に、かつ集中して反復学習に取り組む習慣を身につける。 |
| 実施内容（構成・目次、概要） | 高等部の生徒を対象に、ICT 機器を活用した個別学習が行われました。<br>**モバイル機器の活用:**<br>iPod touch を導入し、生徒が個別に操作できる環境を設定。<br>**運転免許試験の学習:**<br>運転免許の学科試験問題など、生活や進路に直結する内容を反復して学習する教材として活用。<br><br>図３－12－２ 運転免許問題集に取り組む様子<br><br>図３－12－３ 正解の場合（左）と不正解の場合 |
| 成果・効果 | **集中力の向上:** |

| | |
|---|---|
| | 機器の操作性やクイズ形式の学習により、学習に集中する習慣が身についた。<br>**意欲の向上:** 将来の目標（免許取得）に向けた学習であるため、生徒自身の学習意欲が高まった。 |
| 課題 | 学習内容が限定的になりやすい<br>教材更新が手作業で大変<br>長文は教師が読んで説明しないと一人で学習できない |
| 備考 | https://www.nise.go.jp/cms/resources/content/5215/seika4_3.pdf |

実証講座 受講者アンケート 自由回答集

**〇小牛田高等学園**

**■1 年生／2025 年 5 月 27 日**

・身だしなみや、動きやすく落ち着いた服装を心がけることによって働きやすいので、将来のために、今からでも実践していきたいです。
・この度はリハ専の講話に来ていただき誠にありがとうございました。今後ビジネスマナーについて校内実習や学校生活でも活かしていきたいと思います。
・将来、社会人となり、働くにあたって、目上の人への敬語や通勤中、通務中の服装について分かりやすく、資料と共に教えていただき、良い学びとなりました。本日学んだ事を今後の学校生活や社会に出てからも活用していきたい。
・いつも使っている言葉と今日わかったことがあったのでこれから使っていきたいと思いました。
・今回を聞いて社会にてきした言葉や服装でいどみ、自分てきした仕事して、聞いた事をいかしたいと思います。
・ビジネスマナーについて理解することができた。仕事をするときにやくに立つので知ることができてよかった。
・身だしなみをきちんすることによっていんしょうがいいことや言葉づかいなどみなおすことができました
・話を聞くだけでなく、タブレットを使ってアンケートに答えたり、ロールプレイをやったりしてみて楽しかったです。
・今日のビジネスマナー講話を今後のグループ実習や後期現場実習に生かしてこれからも頑張って行きます。今日はビジネスマナーの講話をしていただきありがとうございました。
・仕事に役にたつ事を教えてくれたので少し自分でも高等学園での生活面にいかしたいと思いました。
・わかりやすい内容でとても役にたちました。知らないマナーなどがあったのでこれから使っていきたいです。
・内容がとてもわかりやすいし、アンケートで答えたりできて、楽しく話を聞くことができました。
・とても分かりやすく、内容を良く理解できた。今後も今日、学んだ事を大切にしたいと思った。
・今日は話しをしてくれてありがとうございます未来の自分のためになりました。
・すごくやくにたったりすごくよく分かったこともたくさんある
・授業を受けてビジネスマナーについて、学びました。身だしなみ学校と社会の違いの事を教わりました。今後、ビジネスマナーで教わった事を生かして頑張って行きたいです。

・身だしなみは会社に行く時はその時にあった服の着方をしないといけないなと思いました。礼義や言葉遣いも改めて知ることができてよかったです。
・とても、わかりやすく、将来にむけて、大事な事を勉強できて良かったです。今日は、性しい中ありがとうございました。
・ビジネスマナーについて、社会のルールやれいぎについて学べることができてよかったです。
・ホワイト企業が少ない理由として、あいさつや、返事などが、良くないかもしれないと思いました。
・言葉の使い方が自分は少しわからなかったところが少しありましたので今日のこと思いだし自分の役にたてるようにしたいです。
・将来に役立つ事がたくさん頭に入りました。
・本日の授業で報告や連絡や相談はとても大切だと思いました。あとは同じミスをて怒られても自分の成長につながるんだなーと思いました。
・服装など身だしなみはしっかりしないといけないと分かり、あいさつは聞こえる声ではなすことが理解ができたのでよかったです。

**■2 年生／2025 年 9 月 2 日**

・報連、相やお願いの仕方を学ぶことができ、実習で生かしていきたいです。本日は、お忙しい中、ありがとうございました。
・ロールプレイやってみましたが、実習生役よりスーパ役の方がメモや言うのが多くて、大変ですが、上手くできたので本当に良かったと思います。
・メモを取るのがいいと思いました。こんごはメモをかつようしながらメモを取りたいです。仕事をするときに心かけたいと思っています。
・今日の授業ありがとうございました。自分が大人になっても礼義というのを大切にしていきたいと思います。
・上司や同僚の方とのやりとりの仕方が分かったので良かったです。
・自分がこれから働くのに色々な場面があるので今回学んだことを意識してやっていくようにします。本日はありがとうございました。
・ロールプレイで謝るのをやって練習みたいにできてよかったです。
・仕事をするにおいて、言葉づかいや謝り方などをしれたので、今後、実習や将来、仕事に就いた時、この教えてもらったことを意識していきたいです。本日は、いそがしい中、足を運んでくださりありがとうございます。
・私は今、商品管理班に所属しています。こういった作業をする時に心がけることが多く、今後の作業にも活かせさせていただこうと思います。本日はありがとうございました。
・お忙しい中、授業を教えてくださり、ありがとうございました。小牛田高等学園を卒業

したら就職する人がたくさんいます。今回は仕事をすることにあたって心がけることについて学びました。メモの取り方についても学校で授業を受けています。１０／２からの実習では、今回のことを生かして頑張ってきます。本当にありがとうございました。
・改めて、メモを取る大切さが分かりました。これからも大切なことは必ずメモを取ります。
・わざわざ時間とってここまできてくださりありがとうございます。今後今日おそわったことを大切にしながらはたらけるように頑張ります。ありがとうございました。
・後１ヶ月で現場実習がひかえているので今回学んだ心がけることをしっかり頭に入れて実習に取り組みたいです。メモを取ることも普段あまりしていなかったのでメモの習慣を意識していきたいです。
・今日は、お話しをしてくださりありがとうございます。きほん的なあいさつやたいどなど、さまざまなことが学べて、とても勉強になりました。今後のやくにたつように、これからもメモをして、次に生かせるように頑張りたいです。また、小牛田高等学園にきてください！！ありがとうございました。
・前回のふりかえりということで、働く時の基本を改ためて学べました。またロールプレイでは、実際の時のように、行い、実際このような場面でのイメージが、つきました。本日は、お忙しい中、ありがとうございました。
・上司や同僚の方にミスを言うことが分かりました。叱られた時も、最後まで話をしっかり聞き、今後同じことをミスしないことや、謝ることが大切だと言うことも分かりました。今から自分の行動に気を付けていきたいです。
・援業を受けて言葉づかいが大事なことと使うのが難しいと思いました。

**■3 年生／2025 年 11 月 11 日**

・面接時の態度や、ロールプレイを行い、面接の仕方を学ぶことができました。自分の良いところをすぐ思い出すことができなかったのでしっかり考えていきたいです。
・面接や履歴書きに少し不安があったが、櫻井さんの話しを聞いて内容が少しわかった。
・いよいよ私も社会人となり、自分のことをもっと理由し、相手に伝えなければいけないので、今回の授業を通してもっと考えていきます。
・これから面接などあるので、自分の長所や良いところ、苦手なことなどしっかりと自分でりかいしていきたいと思いました。自己アピールをしっかりできるようにしていきたいです。今日学んだことをいかしていきたいです。
・今日の授業は、私に取って大切な時間でした。私は、スピードを意識しすぎて、生活している際に雑になってしまうことがあります。今日の話しを聞いて、スピードではなく、性格ちなんだと、感じました。また、面接時の態度をこういう風にした方がいいと言われて、メモに書き移すようにし、本番でやくだたせたいと思います。今日は、ありがとうございました。

・面接の練習と具体的、どのように自分が、行動して、はつげんをするか、また身だしなみも、改めて学ぶことができました進路に進む上で、イメージすることができました。ありがとうございました。生活する上で、いかしていきたいです。
・面接などで必要な知識を学習することができてよかったです。授業内容も分かりやすかったです。
・今日は、履歴書の書き方や面接の時のことについてお話をしていただきました。どういう風にして、面接を受けたり、履歴書などを書いたりしたらいいのかを、ていねいに教えていただきました。私は、今月末に、就職試験を控えているので、今日教えていただいたことを参考にして頑張りたいと思います。
・面接で役立つポイントや身だしなみの大切さをもっと知ることができました。実際の面接で生かしていきたいです。本日はありがとうございました。
・めんせつでひつようなことやみだしなみについて知れて良かったです。言葉づかいやじぶんのたんしょちょうしょなどもっと知っていければと思いました。色々おしえていただきありがとうございました。
・面接をする時、きんちょうすると思うので練習したいと思います。
・自分の長所と相手の長所お互いに見る時間が勉強になったことと面接練習で相手にアドバイスをもらい、とても参考になりました。
・今回の授業を通して、面接の流れや履歴書の書き方など、様々なことを学ばせていただきました。２．いろんな点をわすれてしまっていたので、いい復習になりました。
・質問されたらすぐに答えるのが苦手なので、すぐに答えられるようにと入室と退室のやり方をスムーズにできるように沢山練習をしていきたいです。
・卒業まで、あと少しなので、これからは、面接練習を頑張りたいと思います。
・お話しを聞いてもうすぐなんだと改めて思い気をひきしめることができました。
・面接の緊張が少しほぐれ、自信がつきました。
・私は、来月に面接があるので、今回で学んだことは、これからの面接練習などに役立てていきたいと思います。

**■1 年生／2025 年 12 月 12 日**

・初めてやった内容があり、中々ない、たいけんをしてダイエットや肉トレーニングにつなげられるように、がんばりたいと思います。
・自分の弱点が分かったのでそこをレベルアップしてどんどん強くなって行きたいと思いました。
・久しぶりに体を動かしてかたかったので家でも体を動かしてきたえていきたいです。
・今日は体のやわらかさのテストをして自分はまだまだ体がかたかったので今度はたくさんストレッチをたくさんしてやわらかくなりたいです。今日はありがとうございました／

**■2 年生／2026 年 1 月 27 日**

・就職して仕事を行うことは、スピードや丁寧さなど色々なことを意識することが分かりました。今日の授業で職業や仕事のことを学び、自分自身のことをくわしく知って、課題を直していこうと思いました。今の学校生活でこのことを活かしていきたいと思います。
・実習先での必要な力を理解し、自分の評価として、具体的に自分に必要な能力が、知れました。卒業するまでに、伸ばせるように、目標を立て、学校生活を送りたいと思います。本日は、お忙しい中来てくださりありがとうございました。
・私は、自分の事を数字とグラフで表したことがなかったので、私のことが理解できて良かったです。また、色々なことをもっと知れたのでうれしかったですし、さくらい先生の話もわかりやすく、また来てほしいと思いました。今日は、お忙しい中来てくださりありがとうございます。またお会いしましょう!!
・就職するまでに色々なことを身に付けないといけないことが分かりました。
・自分はなかなか集中力が弱くてすぐにあきたりすることが多かったですが、今日の授業で教えてもらったことを思い出してこれからもやっていきたいと思います。
・今日は、キャリアデザインということでいろいろな職業と適性を知ることができました。介護関係の職場で必要な能力をあらためて知ることができました。自分の長所は何個でもうかびましたが短所はすぐにうかぶことができました。自分の改善したことをしっかり知れたのでしっかり向き合って直していきたいです。
・自分の短所、長所をわかることができました。これからもいしきしてやりたいです。
・今回の授業で自分の長所、短所が昔よりも多く知ることができました。卒業まで自分の改善する所、伸ばす所を多く見つけて、就職を目指して行きたいと思います。本日はありがとうございました。
・自分の欠点のところ、良いところなどをあまり考える時間がなかったので、この機会で知ることができました。また、自分が必要なところ（職業の適性）を知ることができ、今後どうしていけばいいか分かることができました。僕たちのために教えてくださり、ありがとうございました。
・自分の長所と短所の理解を知ることができました。自分以外のみんなの長所と短所を聞いて違うなと思いました。今後は、学んだことを忘れずに生活したいと思います。
・私の実習先は体力が必要なので改めて体力作りをしようと思い考えました。
・来てくれてありがとうございました。このじゅぎょうをわすれず、仕事をしていきたいです。ありがとうございました
・今回もありがとうございました。今回は、自分の理解と職種の分析を行いました。円グラフを使って自分の理解度や職業の分析で大幅に違うことが分かりました。次の 2 回の実習でも日赤さんで行う予定なのでこれらの円グラフを基に自分が立てる目標を立て、

目標を達成できるように頑張りたいと思います。今日はお忙しい中来てくださり本当にありがとうございました。

・いよいよ三年生になるんですがここで大切な事を聞けてとても良い学びになりました。卒業するまで成長できるよう頑張ります。

・意外と自分自身のことを知っていなかったことがわかり、短所が、改善できるように頑張っていきたいです。職業への意識を高めることができ、良かったです。

**■3 年生／2026 年 2 月 24 日**

・授業をうけるにつれ、やりたいことよりも、健康や現実味のある考えを持てるようになってきました。三年間ありがとうございました。

・今日の授業を聞いて、ストレッチの仕方を覚えることができました。私は、筋トレをしていますが、ストレッチをあまりしたことがなかったので、やってみたいと思います。今日はありがとうございました。

・メンタルについてや体調管理についてなどしっかりと学ぶことが出来ました。体調管理では、MBTI やきんにくのつけかたを知ることができました。メンタルでは病気のしゅるいを学ぶことができました。

・今日は筋肉をつけるために必要なたんぱく質のことやストレッチなどを教えていただきました。自分がよくやっているストレッチやプランクも出てきました。卒業し、就職したら、肩こりや腰痛が出てくると思うので、今日教えていただいたストレッチを参考にしていきたいと思います。

・卒業したら体を動かすことが少なくなると思うので今日学んだストレッチなどを卒業してからなどやってみたいと思いました。体を大切にしてこれからの生活に役立てていきたいと思います。

・本日の授業では、体を動かしたり、自律神経など様々なことを学ばせていただきました。私は、あまり運動することが少し苦手ですが、卒業後でも、なるべく、ウォーキングなど自分の健康のために頑張りたいです。

・知らないことを知れ、知っていたけれど改めて学ぶことができました。3 年間楽しく学ぶことができて良かったです。

・今日はヘルスケアとメンタルヘルスを考えながら体を動かしていき、自分へのストレスにならないようにするためには運動や、やりすぎ、食べすぎなど気をつけて生活しないといけない事がよく分かりました。

・健康な体を作るために必要なたんぱく質で野菜もたんぱく質に入ると知り驚きました。

・社会人の生活には、引き続き体を動かす意識が大切であることを学べました。体も心も大切にし、今後の人生を楽しんでいきます。

・4 月からあらたなかんきょうでスタートしていて、いろんなことがおきると思います。私はりくじょうをつづけていき、トップでたたかえるせんしゅになるためにがんばりま

す。その中でしっかり、ケアなどをしていき、うまく両立していきたいです。

・これから働き出すので、それの不安やストレス、作業をしている時に感じる体の痛みに気を付けるように、今日学んだことをこれから活かし、仕事中に倒れることがないように働きたいです。
・卒業したら、自分で今までよりも気を付けて身体を保つ必要が出てきます。運動することを忘れずにしていき、ストレスとも向き合って生活したいです。
・今後は運動すること心がけて、長生きできるようにします。
・今日はストレッチの仕方や BMI の計算の仕方について学びました。働くと運動する機会がへるかもしれませんが、空いている時間などにしっかり取り組んでいきたいです。
・自分は製造業で働くので、今日学んだことを休日等でリフレッシュをしていきたいと思いました。今日はありがとうございました。
・イラストなどありとても分かりやすかった。いろんなストレッチなどをしることができたので卒業にしっかりといかしていきたいです、
・トレーニングのしゅるい、メンタルのことについて学びました。このことをこれからも生かしていきたいです。

**〇岩沼高等学園**

**■2 年生／2025 年 6 月 24 日**

・自分も卒業後就職して報、連、談をしっかりして仕事にやくだつ人になってがんばりたいと思います。
・久しぶりのコモンホールでの職業で、スーパーの品だしをやる時に最初は自信なかったけど最後までしっかり言い切って良かったです。
・人生はせんたくのれんぞくということがわかりました。
・働く事は大変だと思いました。
・今回の職業では働くことの大切さや親のありがたみなどを学ぶことのだいじなんだと思いまた。
・自分の将来やりたい事や仕事を知ることができた。
・コミュニケーションのメリットが聞けて、よかったです今日の内容を次の実習に向けて、がんばりたいです。
・自分が考えている人生プランも人付き合いも大切なんだとあらためて思いました。
・仕事中のミスの対処方を次の実習できたらと思います。
・就職するために学校で専門教科をがんばり話をきいて働くことの大切さを知りました。
・自分の将来を書いていくと黒くなったり明るくえがけました。
・自分のライフプランを考えたり失敗したときのロールプレイを行えました。
・将来にいかすことを勉強しました。自分の将来は、ちゃんと考えます。
・私は、音ゲーが大好きです。そんな好きな物のために、キャリアＵＰと言った、資格をしゅとくしたり、色々な検定にチャレンジしたいと思ってます。（やってみたい検定）・色彩検定・漢検３級
・自分のしたい事が沢山あったのですがこの授業でやりたい事が分かってきましたわざわざ遠い所から、来て、授業をしてくださりありがとうございました。
・今回は、お忙しい中にためになることを教えてくださりありがとうございました。今はまだ働くことの意味があいまいですが、近いうちにその意味を知れるようしていきたいです。
・働くことについてのいみがわかりました。
・とても充実した内容、講座でした。それに基本的に報・連・相やあいさつなどは相当大事なことだと感じました。今回学んだことを必ず忘れずに学校生活や実習に活かせるように取り組みたいと思います
・自分の将来についてしっかり考えられたと思いました。卒業後の自分はどうなってるかは分からないけど仕事は頑張っていきたいと思いました。
・今日の事をいかして卒業後の自分をなんとかできるようにがんばります。
・しょうらいの投に立つことがたくさん聞けてよかったです。

・人生の予定がうまくまとまってすごくタメになりました。
・自分の将来をより考える事ができて、すごく自分のためになるお話でした！！今日、１日本当ありがとうございました。
・とてもタメになる授業で、とても勉強になりましたし、自分にとっても良い体験をさせて頂きました。
・今日の職業の時間は、話がむずかしく、あまり入ってきませんでしたが、良い時間になったと思いました。
・ぼくはこうゆうじゅぎょうをまなんでしょうらいのことを考えていこうと思いました。おやこうこうをしたいのでいまよりもっとできることをふやしていきたいです。
・社会貢献のためにお金をためつつ、仕事をしたいです
・少しでも将来の事を考える事が出来た
・最近、前よりも将来の事について考える回数が多かったので、今日はとても役に立つ授業となりました。卒業後良いことばかりじゃないけど頑張っていきます。
・就職するために、お金を稼いで早ね早起きをして体力を整ってから働くためです。
・とても、いい勉強になりました。ありがとうございました。
・自分が卒業したあとどうしたいのかをふりかえることができたのでこれからはそれにむかって学校生活をおくっていきたいです。
・将来役立つことがたくさんあったので、この話をわすれずに頑張たいと思います。
・もうすぐ三年生になるので卒業後の自分を考えたいと思います。
・進路をかんがえるのはむずかしいですね
・自分の進路など考えて分かりませんでした。

**■3 年生／2025 年 9 月 16 日**

・職業でビジネスマナーを学びました。職場に１０分前に着いていればいいとアドバイスをいただきました。これからの生活に役に立つと思います。
・アドバイスされたことを聞いてメモをするということや書類を提出するに両方の手で度たすということが理解することができました。
・自分は未熟だなと思ったのでもっとマナーを知らないといけないなと思いました。
・会社の方に声を掛ける際にどんなふうに声を掛けるかが分かりました。
・改めて社会のマナーなど色々と学ばせていただきとても重要なんだなと思い聞いていました。
・もうすこしで就職したらまなんだことばをいかせるようにがんばりたいです
・今日学んだ事を４月の就職に生してがんばりたいです。
・今回ビジネスマナーをして色々な事を聞き色々な事を学びました。とっても良い学びだったと思いました。
・今回のビジネスマナー講座を受けて、基本的なあいさつや、ほうれんそうの大切さを学

べてよかったです。
・今回の授業で仕事で大切なことを学ぶことができて良かったです。
・自分がどうしつたらいい時のアドバイスになりました。
・家でやったことよりもわかりやすかったです。
・今日のビジネスマナーを通して服装や出社時間について改めて学ぶ事ができたので今後に活かして行こうと思いました。
・今日、学んだ事は、アドバイスは成長のチャンスという意味が分かりました。
・本日はおいそがしい中ありがとうございました。
・今日はビジネスマナーのことがよりしることができました。
・社会人として生きていく上で基本的なことを改めて学ぶことができました。目上の人や周りの社員さんたちに失礼ないように今日、学んだことを生かしていきます
・実習で学んだことをいかしたいです。
・今回の授業の内容についてできてよかったです。
・実習が近いので今後の僕たちが覚えるべきことを多く学べたと感じました。
・今回、ビジネスマナーで学んだことは、あいさつや身だしなみなどがよく分かりました。じっさいにロールプレイをしてより学ぶことができました。
・いいイメージを作るため、がんばろうと思いました。
・ビジネスマナーを受けて実習中に目上の方には敬語を使うようにしたいです。今日学んだことを思い出したいと思います。
・今回の構話の内容でマナーは大事なんだと感じました。
・今回の講話の内容の中では、前回とやったものだったと感じました。そして、改めてビジネスマナーの大切さを知りました。後アンケートをとる内容はとてもよかったです。☺
・ビジネスマナーなどを改めてしることができてよかったです。
・社会に出たら、どの内容も、おぼえておくひつようがあると思いました。社会人としてへんなふうに見られないようにしたいと思いました。
・とてもせつめいがわかりやすく理解しやすかったです。本当にありがとうございました。
・会社では、れいぎ正しくする
・たのしくできたのでよかったです。
・お忙しい中講話を開いていただいてもらい、いい機会が作くれて良かったと思いました。いい勉強になって良かったです。
・あいさつやメモの取り方など、いろいろ教えてくださったので良かったです。
・就職に向けてあいさつや身だしなみ、言葉遣いなどのマナーについてよく理解することができました。
・職場実習に向けての挨拶返事・報告・連絡・相談が大切だと感じました。

・今回の授業ではしょうがい全たいにやくにたつのでがんばっておぼえていこうと思います。
・今日は身だしなみやロールプレイなどをしました。身に付けたいと思いました。

**■1 年生／2025 年 9 月 17 日**
・職場に凄くあいさつや身だしなみが大事な事が知れたのでこれからの生活にあいさつと身だしなみを心がけたいです。
・大まかなマナーは知っていたのですが、細々としたことまでは知らなかったのでここでお話いただいた事を覚えて実習に励みたいと思いました。
・お店やくをやらせてみたらすこしまよってことばがでなかったです。
・学校ではおじぎ（後先ごれいなど）などを習っているのですがほかにもいろんなマナーを学ぶことができました。
・色々な考えや言い方があるのだと思った。
・今回は、色んなことをきいたりじっさいにやったりしてわかりやすかったです。
・社会的なマナーについて身に付いているかどうかと聞かれるとどちらともいえない分からないと答えてしまう人ではありますが、今回のビジネスマナー講習会でお話を聞いてミスをした時には謝る。報告、連絡、相談を徹底するといった基本に立ち返って行動するということが大事だということが分かりました。
・しっかりメモを取ることが分かりました。
・マナーや学校と会社の違いについてたくさん学びました。今日、生徒役や先生役をしてみて、言葉づかいは大切だと思いこれからもやっていきたいと思いました。
・いつも授業で習っている事がたくさんでてきて、いつも授業で本当に大事なことを習っているんだなと思いました。
・今日のビジネルマナーで色々な事を学びました。身だしなみがちょっとやばかったので気をつけようと思いました。言葉づかいは少しあぶないと思ったので気をつけます。メモを使うのが少なかったので使うようにします。
・今までどうやって質問の呼びかけをすればよいのかがあまりわかってませんでしたが、今日の講習会を受けて、これから活かしていきたいです。今やっている行動もあればできてない行動もあったので意識して取り組みたいです。
・今日は、いろんなことをおしえていただきました今日まなんだことをしょうらいにいかせるといいです。
・ちょっとわからないところとわかるところがあってめちゃくちゃでした。たぶんやくだつ
・店のてんいんさんをやってみて言葉を言うのがとてもむずかしかったです
・身だしなみや服そうなど色々な事を知りました。
・職場実習に向けての準備をする話を聞くことが出来ました。

・今日の授業で一番いんしょうにのこったのは時間は１５分～１０分のあいだにくればいいとわかりました。
・今日は、ビジネスマナーについて、勉強をしました。自分が、しごとで、はたらくときにやくにたてれば、よいとおもとました
・今日授業の内容は、これからの学習や卒業した後に役にたつと思いました。
・ビジネスマナーはこれからの将来にやくにたつので忘れないようにしたいです
・ビジネスマナーを学びました。分からないことは、聞くことと、あいさつ、返事が、大事だと思いました。
・今日受けたビジネスマナーを通し、実習に役立てて行きたいと思います。今日は色んなことを教えていただきありがとうございます。
・身だしなみ、あいさつ、が大切だと知る事ができました。め上の人への言葉づかいも今日の授業で知る事ができました。
・今日覚えたマナーを活かし、職場実習などに活かしていきたいと思います。
・すごく大事なことを、教えてくださりありがとうございました！！！
・うごいたりするのがあってあきずにまなべました。
・職場でやくにたてることばかりでした。
・目上の人への言葉遣いや質問の仕方など理解することができました。学校生活の中で今日学んだことを意識していきたいです。
・職場の方の呼び方をあらためて、さんだとしる事が出来ました。仕事をするにあたって、みだしなみが大切だと気付く事が出来良かったです。
・とってもわかりやすいじゅぎょうでした。もしもしゅうしょくがきまったらこれをいかしていきたいです。
・もしぼくが卒業したら、就職さきを考えていこうと思います
・ビジネスマナーをしっかり守って就職したいです。
・学生はお金を払ってサービスをされていて職場はお金をもらってサービスをするということに気づきました。ありがとうございます。

**■3 年生／2025 年 11 月 25 日**

・面接をするにあたってのルールやマナーなど学びました今日面接したときに上手く受け答えできなかったので、これから練習しようと思いました。
・履歴書の確認と面接練習をしました。身だしなみや態度に気をつけて頑張りたいです。
・面接練習からしっかりとし本番できるようにがんばりたい
・自分がめんせつするときにしゃべりかたなどをおしえてくださりこんご、いかせるようにがんばりたいです。
・面接の時では、ドアを３回ロックや指示がでるまでイスにすわらないということがわかりました。

・面接で気をつけるべきことが学べて、すごく良かったです。
・今日は色々な話しを聞いてとっても役にたつ話しをきけて良かったです。
・面接練習をクラスの人と出来たので良かったです。中々練習をする時間が無いので良いけいけんになりました。
・面接のマナーについて改めて学べて良かったです。
・面接で、れんしゅうをさせてくださったおかげで、なにをはなせばいいのか少し身がしまりました。
・面接の人のやくでやるのがむずかしくかんじました。
・とてもよかったです
・今日の話や面接練習を通して改めて将来についての考えが深まりました。今後に活かしていきたいです。
・今日、分かった事は、面接をする場面で身だしなみや、態度に気を付けることが分かりました。
・今回は面接に必要なことを学びました。身だしなみなどいろんなことが分かりました。
・ｉＰａｄを使ったアンケート方式は、良いと思った
・面接のルールなどを学ぶことができました。
・面接のさんこうになりました。
・今回の授業をきいてめんせつの大切などがわかりました。
・面接のことが学べてよかったです。
・今後の僕達にとってとても大切なお話を聞けたので良かったと思います。面接など得に活かせるよう頑張りたいです。
・お忙しい中、私たちの為に講話をしてもらい、大事なところや私たちのことを思って教えていただけて大変嬉しく思いました。
・就職するために面接はとても大事なことを学びました。
・まだ就職の面接は決まってませんが面接について知っておくべきのことなどよく理解することができました。
・面接できちんと答えることと、服装や身だしなみについて意識をすることができました。
・１２月にめんせつなのでこんかいのはなしをきいてさんこうにしていきたいとおもいます。
・学ぶ事が多かったので就職に向けて頑張っていきます。
・来未はとうなるかはわかりませんが、自分が目指す来未を作くるためがんばりたいと思いま面接もその人です。
・めんせつでのだいじなことを学べました。
・今日の授業をして入社試験の時の面接の時に失礼にならないようにだらしない所を見せないように今日やったことを思い出しながら受けたいです。

・今日は、面接に必要な服装や態度などを知ることができました。
・服装や態度など、面接にしつようなことを知れてよかったです。
・とてもわかりやすく教えていただいたのでべんきょうになりました。
・まだ面接してないので知る事ができてよかったです。

**〇秋保かがやき支援学校**

**■1 年生／2025 年 9 月 5 日**

・社会科の授業やこの学校の専門教科でもある食品装造や介護福祉の授業の復習をしながら“仕事”について学べた時間でした。将来のことは少しずつ考え始めていますが、３年間の学校生活はあっという間なので、働くイメージをつけながら日々過ごしていきたいです。
・いろいろ仕事があってどれも大変だと思った。今日の話を聞いて、高校を卒業した後に学んだことを生かそうと思いました。
・今日、話を聞き卒業後の進路などをさらに考え一人でもできるようにしたいと思った。
・食品を作るには色々な人がひつ要だと知りました
・今日は、くわしくお話をきくことができてすごくうれしかったです。介護のことや色んなお仕事についても分かりやすく教えてくれてすごくべんきょうになりました！卒業後は、進学する予定なのであきらめずがんばりたいです。今日はありがとうございました！
・自分の進路でどこにいこうかなとかでなやんでたけどこの授業をうけて介護で勉強したいなと心に残りました。わかりやすく教えてくださりありがとうございました。
・自分の進路はまだイメージが付いていないですが今回の授業でやりがいや、どの職業があるのか知れたのでとても良かったです。
・将来大人になった時、すごく役に立つと思いました。今日この実証講座を受けれて良かったのととても良いべんきょうになりました。
・今日は先生たちのもんだいをかいとうをしましただんだんレベルが上っていてむずかしかったです。
・今日は、職業について講座をしていただき、ありがとうございました。社会の事や、介護福祉について教えてくださり、ありがとうございました。
・学ぶことが多かったのでこれからに生かしたいです。
・いろんな仕事があって、皆ながささえられてることに気ずきました。
・なおとさんがご丁寧に教えて下さっていろいろイメージがつきました福祉にも興味がわいてきました今日はありがとうございました
・僕は、りがくりょうほうしを目指してます。なので、そちらの学校にお世話なにます
・授業の内容は、難しかったですが少し理解は、できました。将来、自分がとのようになっているか楽しみです。
・私は生活の中で一つの仕事に色々な仕事が関わっていたことを考えていなかっなので難しかったですが知らないことを知ることができました。
・レベルがちがうぐらい内容が、とてもすごく学びました。
・知らないこととかも、知れてよかったです介護に少し興味を持ちました。貴重なお話し

ありがとうございました。
・今日、学べたことをこれから生かしてがんばりたいと思います。とても分かりやすく見やすくてよかったです。色々な仕事があると感じました。
・コンビニと介護の仕事を例にして働くことの大切さについて知れためになりました。
・今日、話を聞いてコンビニのおにぎりでもとどくまでにもコンビニだけじゃなくいろんな職業がかかわっていることおしりおどろきました。他のしょくぎょうにもきょうみをもちました。
・今回の実証講座では将来つきたい就職の学びだったので将来の進路につながりました。今回はありがとうございました。
・いろいろな仕事がささえあって社会がまわっていることをさいかくにんしてよかったです。
・どの仕事にも１つだけの仕事だけでなく色々な人や物が流れていることを知りました。仕事とのやりがいを知るために日々努力していきたいと思います。
・わかりやすいせつめいだった。わからなかったことがこの授業をきいてわかったことがあってよかった。
・おいそがしい中じゅぎょうをしてくれてありがとうございます。ｉＰａｄを使ってみんなの考えをしれたのは良かったです。家族に今日のことを教えたいと思いました。学んだことを生して勉強していきたいです。
・自分は、職業についてあまり知らなかったから、すごくべんきょうになりました。
・何事も仕事をするには周りとの「協力」が必要な人だということが分かりました。卒業後に役立つようにがんばりたいです。

**■2 年生／2025 年 10 月 2 日**
・良く深い内容だったけれども必要に考えされだと思いました。
・大人になったら就職して働く理由が山ほどあって、人間はすごく大変で忙しいなーと思いました。
・今日の職業教育プログラムは、自分の将来について考えるのが難しかったですが、卒業した後の就職などでためになるようなことを学ぶことができたと思います！
・今日は、働くとは何かについて勉強しました。実習が近づくと緊張してしまいます。すぐに相談することが出来ないです。ライフプランを考えることが出来なかったです。普段の日常生活で生かしていきたいと思います。
・どゆうところで仕事したいかわかる学習だった。
・仕事で働く時にコミュニケーションが必要だと分かり、「報告、連絡、相談」も実習時に忘れないで取り組んでいきたいです。
・“働く”という言葉の意味を深く学ばせていただきました！とても楽しく学ぶことができましたありがとうございました。

・ほうれんそうを初めて聞いたので失敗があったりとかしたらほうれんそうを使って話してみたいです。色々な職業のことを学べました。
・あまり計画が現実性がなくりょこうとかどうかっていってるかわからなくなってしまいました。
・今日は働いて金をかせぐことがすべてだと思ったけど今回のじゅぎょうで金だけがすべてじゃないとわかったこれからもかんがえていきていこうと思いました。
・もうすこし自分とむきあったほうがいいと思った。
・授業の中で印象に残ったことは、確認はしつこいぐらいが良いこと、そしてもっとやれることがあるのだと気づいたことです。勉強になりました。ありがとうございました。
・進路のことで、他の人には、いえないこととか、そうだんしにくいなと思っていたけど、今日の授業で、親や先生に、話してみようと思いました。
・人生についてかんかえさせられる。
・授業を聞いて、もっと就職や将来のことを考えた方が良いと思いました。
・いろいろなことがだいたいよくわかった
・今日初めて受講をしましたが、受講の前までは、ライフプランとかあまり分かっていなかったのですが、今日で良く知れたので良かったです。本日はありがとうございました。
・ずっと聞いているだけじゃなくて、アンケートを取りながらの授業で、楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。
・今日学んだことは、コミュニケーションやライフプランなどを学びました。将来、学んだことを意識して取り組んでいきたいと思います。
・私はスティーブジョブズにおんを返えさないといけない
・色々と教えてもらい将来についてもっと学びたいと思えました。これから日常生活でも将来について向き合って考えたいです。ありがとうございました。
・就職について少し考えられるようになった。
・将来について考えるのが少しだけ難しかった。
・ためになる授業で自分では知らなかったことが多くありました。また同じような授業がありましたら今回よりも多くのことを学びたいです。
・今日は、コミュニケーションの大切さと失敗してもその後が大切な事が分かりました。働く目的働く理由が分かりました。勉強になった事をいろいろな所でいかせるように頑張りたいと思いました。
・これからの自分の将来のことを考えながらできていたから良かったと思いました。

**■2 年生／2025 年 10 月 7 日**

・こんかいのでわからなこととかもありましたができるはんいでわかったのでよかったですこれからにだいじなこととかもわかりました。

・現場実習での仕事の分析と自分の理解を細かく分析することができたと思います。
・自分は、頑張ることがすごく好きです。が一方で苦手です。断続するのが難しくめんどくさくなります。今回の授業で得意なことを活かしつつ苦手なことにも目を向きすぎずほどよくしていきたいです。
・今回は２回目講座を受けての感想は、また今回も知らないげんごも知れて良かったです。卒業後も自分のかだいに向けて頑張りたいです。
・仕事に体力の必要性をしれてよかったです。こんご長所をのばしていきたいです
・自分の理解や自分の分析をしてみてこんなに違うのが分かりました。
・自分のことをもうすこし、しれるようになりたい。
・わかりやすかった。
・自己理かいができてよかった。
・前回とくらべて今回は少しむずかしかった。
・よくわかった
・楽しかったです。
・自分の理解をグラフにして、自分が、どこが課題なのか分かってきて、卒業までに改善したい事の内容が分かりました。
・同じ理系経験者として頑張りましょう
・自分の理解をすることが難しかった職業の適性について正しく分析ができた
・あらためて短所をかんがえることができました。
・自己理解について知る事ができました。職業理解も知る事ができました。これからもこのじゅぎょうをいかして生活していきたいと思います。
・自分の不得意得意が明確に分かりました。
・自分の授業とかにくわしく考えることができた。

**■1 年生／2025 年 10 月 8 日**

・今日きちょうな時間を作ってくださりありがとうございました。今日学んだことを実習でいかせるようにしたいと思いました。
・マナーをあまりしらなかったので、ためになった。
・将来現場に就職したら本日ならったことを生かしたいと思います。
・今日は、職場でのやり取りを教えてもらい、当日も教わったことを生かしていきたいと思います。
・とてもいい話しでした。
・今日、学んだことは、現場実習だけではなく就職しても役に立つと思いました。
・先生の話がわかりやすかったです。
・基本的なことを知れてよかった。
・本日は２回目の構話をしていただきました。職場で使える用語がたくさんでてきたの

で、バイト先で活用していこうと思いました。
・これからの職場生活で今日、学んだことを生かそうと思いました。
・もうすぐ現場実習で、学校の先生方と関わる距離感と現場の方と関わる距離感や言葉づかいなどは、日頃から気をつけるようにしていますが、今一度、同級生や先輩方、先生方との関わり方を見直して、職場先に行きたいと思います！ありがとうございました！
・ルールやマナーなど当り前の事をより深く学びそれをいかしていきたいです。また、相手がいるということは、自分だけの問題ではないことを改めて感じました。時間は有限なので責任をもって仕事できる人になりたいです
・授業の内容が分かりやすかったです。
・ビジネスマナーについて櫻井先生のお話が分かりやすく職業の時間が楽しかったです。
・現場実習に向けてあいさつや礼儀正さやマナーなどを守って行きたいと思います。
・みだしももちろんほうれんそうを大事にしたいなと思いました。今日はありがとうございました。
・りかい、しやすいです。ごていねいでありがとうございます。将来や進路など、学びたいと、思います。
・今日の授業をふまえた上で言えることは自分達はこれから実習に行くのでほうれんそうについて知れたのが良かったです。
・今の自分と７０さいになった自分をそうぞうして見ると今日の授業内容は２０さいになる自分をよそうして見たいと思いました。
・深くマナーについて改めて知ることができました。生活で生かそうと思いました。
・深くマナーなどが分かった
・マナー講座を学びました。マナー講座では、マナーや、メモの取り方を学びました。今月の実習に向けて頑張りたいです。
・３時間目は、授業に出るのがおそくなってしまい、すみません！ビジネスについてくわしく知る事が出来てうれしかったです。次は、気をつけます。
・これから現場実習があるのでいい授業でした、今日聞いた話を忘れず、実習でいかしていきたいです。
・今日は、あいさつについて学びました。特に記憶に残った事は、服装についてです。理由は、身だしなみがととのってないとだらしないので気を付けようと思いました。
・とてもビジネスマナーについてわかりやすく学ぶことができました。初めてしることもあったので良かったなと思いました
・様々な意見を見れてためになりました。

**〇大笹生支援学校**

**■3 年生／2025 年 11 月 18 日**

・就職希望の理由の所は練習とかしとくと良いと教えてもらいました。面接時の服装の事もおそわりました。すごくべんきょうになりました。
・面接の仕方や、履歴書の書き方が不安ですが教えてもらえてよかったです。ありがとうございました。
・履歴書の書き方を教えてもらってよかったです。
・自分のいい所をしることができた。
・私は、お父さんが面接してるってよく聞いています。お父さんは、面接してて大変な気持ちが伝わってきました。私も、お父さん見たいに面接のことをがんばります。
・面接をする時は、とてもきんちょう感がある中での事なのでこれから大事だと思うことを自分自身の行動でみつけ、面接の時には、新しい自分に変えて、言いたい事を面接管の人に自分の良さを伝えられるように日頃の学校生活で生かせられるように一生懸命頑張りたいと思います。
・履歴書を書くことがとっても大切だと思いました。面接では、いろんな点に気をつけないといけないと気づきました。服装や態度面が採用されないかなどできまると思いました。
・姿勢のことや面接の練習ができてよかったです。
・卒業が近くなってきたので、とても勉強になりました。
・とってもくわしくおしえてくださりありがとうございました。今日学んだことをいかしてこれからもがんばりたいと思います。
・面接を終わる時、どこで「ありがとうございました」を言うか分かりました。これから面接が、多くなるのでよい勉強になりました。

**〇女川高等学園**

**■1 年生／2025 年 12 月 4 日**

・ねがえりをする方法があるという事がわかりました。色々な方法で褥瘡にならなくなるのと利用者様が楽くになれるという事が分って色々知る事ができて良かったです。
・褥瘡について学ぶことができてよかったです　自分も夜に寝る際に褥瘡を思いながら生活していきたいと思います。来年もよろしくお願いします今日はありがとうございました。
・将来、介護に関わることで覚えておいた方がいいこと、利用者さんの中で、じょくそうになっている方、予防のためにできることなど、しっかりと覚えて、生かしていければいいなと思います。また、ベッドのポージングの方法も覚えていきたいです。
・ベッド横になる時の名前、仰臥・側臥・ファーラーという言葉があると初めて知った。

**■3 年生／2026 年 2 月 2 日・2 月 9 日**

・とても分かりやすく色々な機械があるのが分かりました。とても楽しかったです。
・今日の授業の内容は、オムツを初めて見て触ってみたら以外としっとりしていて、安心感があるのが分かりました。

令和７年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

**知的障害特別支援学校高等部と専門学校の有機的連携の開発と実証**

**事業成果報告書**

発行者　　学校法人仙台北学園　仙台リハビリテーション専門学校
発行日　　令和８年３月